

# 令和3年度 第2回 札幌市地震被害想定検討委員会

日時：令和4年3月22日（火） 15時00分～16時00分

開催方法：オンラインによるWeb会議

## 1 出席者（敬称略）

### 【委員】（○は委員長）

室蘭工業大学 大学院工学研究科	教授	有村 幹治
北海道大学 大学院工学研究院	教授	石川 達也
北海学園大学 経済学部	准教授	大貝 健二
北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所	研究推進室長	大津 直
北海道大学	客員教授	今 日出人
北海道大学 大学院理学研究院	教授	谷岡 勇市郎○

以上、6名出席

### 【事務局】

札幌市

危機管理対策室長	荻田 葉一
危機管理対策部長	永澤 美樹
計画・原子力災害対策担当課長	秋山 裕一
防災計画担当係長	後藤 昌範
防災計画担当	藤澤 秀行

### 【事務局補助】

（株）エイト日本技術開発

## 2 議事概要

### (1) 議事説明

#### 【事務局】

資料に沿って議事内容を説明

### (2) 質疑応答・意見

#### <地域防災計画について>

#### 【委員】

民間会社とも協定を結んでいるのはよいと思うが、実際問題として、どこまでの協力を期待しているのか。

**【事務局】**

協定に明確な基準はなく、協力していただける会社に供給を受ける形を考えている。そのため、できる限り多くの企業と協定を結ぶことで考えている。

**【委員】**

資料 1 の個別避難計画の努力義務化についてだが、今後どのように作成していくのか。

**【事務局】**

保健福祉局の所管で進めている。個人情報扱い等により、なかなか進めない状況もあるが、個別避難計画作成にあたっては、地元の協力が必要であり、その足掛かりを探している状況である。

**【委員】**

この前の東北での地震で電気の問題が起きている。今年は大雪もあった。複合的な要因ということもこれから考えていかなければいけない。また、子供たちへの防災教育ということも重要で、将来の防災力向上につなげていく必要がある。

**<ハザードマップについて>**

**【委員】**

地震と浸水のハザードマップで図面の大きさが違うのか、そろっている方が分かりやすいのではないか。

**【事務局】**

マップの作成に当たっては、揺れ・液状化・建物被害を紙面に収めるため、縮尺を決めている。次の更新の時は、ご指摘を踏まえ、検討したい。

**【委員】**

土砂災害警戒区域が浸水マップ、地震防災マップの双方に示されているが同じものか。大規模盛土造成地は含めないのか。

**【事務局】**

いずれも、北海道が指定した土砂災害警戒区域を示している。大規模盛土造成地は含めていない。